

# 心に残る文化財子ども塾 活動の概要と様子 ～ 出雲市立西野小学校 ～

## 1. 概要

6月21日(月)に、出雲市立西野小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに、斐川町や西野小周辺の遺跡について、県埋蔵文化財調査センターの職員から話を聞きました。その後は、斐川町から出土した遺物の観察をとおして、「火とひと」の歴史を学び、古代の人々の工夫や技術について理解を深めました。

次に、いよいよ「火起こし」体験を行いました。まず「マイギリ式」の道具と使い方を学び、摩擦を起こして火種を作ることから始めました。しかし、煙が出ているのになかなか火が付きません。それでも必死に作業し続けると、ようやく一部で炎が上がり、達成感が生まれました。

火を起こすことは予想以上に難しく、時間と労力がかかることを体感しました。体験活動を通じて、昔の人の苦労や火の重要性を改めて実感しました。

## 2. 様子

### 1) 斐川町・西野小周辺の遺跡について知る。「火とひとの歴史」「火起こし技術」について学ぶ。



「身近に遺跡がたくさんあってびっくり！」



「近くの遺跡から移動式カマドが出ているよ」

### 2) 古代体験活動 ～ 火起こし体験 ～



「火を起こすのは大人でも難しい・・・。」



「ようやく煙が出てきた！！」

### 3. 子ども塾を終えて

#### 1) 児童の皆さんから…

- ・学校周辺や斐川町の遺跡をもっと知り、行ってみたいとなった。
- ・マイギリ式の火起こしを体験できてよかった。煙が出たのが心に残った。
- ・昔の人がどうやって火をつけていたのか知れてよかった。
- ・火を起こすのは難しく大変だったけど、とても楽しかった。
- ・他の方式の火起こしもやってみたい。火打石でも火をつけてみたい。
- ・昔の時代の生活について、もっと知りたいと思った。

#### 2) 担任の先生から…

- ・斐川町の遺跡分布を知り、身近なところにも多数あることを知った。
- ・荒神谷遺跡以外にも、学校の周りに遺跡がたくさんあることを知れてよかった。
- ・火起こし体験を全員実施することができてよかった。
- ・火起こしには、大きな労力がかかることを体験できたことがよかった。
- ・火起こし体験を通じて火のありがたさを実感した様子で、とてもいい勉強になった。

#### 3) 埋文センターから

地元斐川町にもたくさんの遺跡があることについて、驚くとともに興味を持って聞いてくれました。町内で出土した移動式カマドの実物を見せられ、「これは一体何か」とクイズを出しましたが、すぐに答えにたどり着きました。また、縄文時代から現在まで、様々な火起こし技術があることを紹介しましたが、皆さんよく知っていてとても関心が高い様子でした。

火起こし体験では、梅雨の時期ということもあり、なかなか思うように火が起きず苦戦しました。しかし最後には、いくつかのグループで炎が上がり、歓喜に包まれました。体験活動を通じて古代の生活の一端にふれ、当時の人々の熟練した技術や苦労を一層強く感じることができました。